※令和４年度以降入学生用

学校番号	111

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳述公共」（実教出版）						
副教材等	「最新図説公共」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・授業中のノートについては、板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容など積極的にメモをとりましょう。
・授業、教科書、資料集だけでなく、テレビ・新聞などマスメディアからの情報を通じて、しっかり判断できる能力を養いましょう。
・つねに「なぜ？」「どうして？」を意識し、自ら考える能力を養いましょう。

２　学習の到達目標

① 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
② 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
③ よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代社会で起きる様々な課題を捉え考察するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・課題解決のために必要な資料を適切に読み取り選ぶことができる。	・現代社会で起きる様々な課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察、構想することができる。 ・考察、構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	・知識及び技能を獲得したり、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。 ・よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1編　公共の扉	第1章　社会をつくる私たち 1　生涯における青年期の意義 2　青年期と自己形成の課題 3　職業生活と社会参加 4　現代社会と現代の生き方	ａ：青年期の特徴と意義を理解し、自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 ｂ：地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート
		第2章　人間としてよく生きる 1　ギリシアの思想 2　宗教の教え 3　人間の尊重 4　人間の自由と尊厳 5　個人と社会 6　主体性の確立 7　他社の尊重 8　公正な社会	ａ：人間としてよく生きるために、また、社会全体の幸福を実現するために、先人の取組や考え方について理解している。 ｂ：倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第3章　社会とは何か 1　人間の尊厳と平等 2　自由･権利と責任･義務	ａ：人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 ｂ：公共的な空間における基本的原理について思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、人間の尊厳と平等、自由・権利と責任・義務といった公共的な空間における基本的な原理ついて理解しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート
		第4章　民主国家における基本原理 1　人権保障の発展と民主政治の成立 2　国民主権と民主政治の発展	ａ：民主政治の誕生と発展、基本的人権の歴史的発展について理解している。 ｂ：民主政治の意義と課題について、現実に起きている事象とも関連させながら多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義、法の支配、といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート
	第2編　よりよい社会の形成に参加する私たち	第1章　日本国憲法の基本的性格 1　日本国憲法の成立 2　平和主義とわが国の安全 3　基本的人権の保障 4　人権の広がり	ａ：国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を掲げる日本国憲法の意義について理解している。 ｂ：憲法に関連する多様なテーマについて多面的・多角的な視野をもって考察している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、わが国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第2章　日本の政治機構と政治参加 1　政治機構と国民生活 2　人権保障と裁判所 3　地方自治 4　選挙と政党 5　政治参加と世論	ａ：政治参加と公正な世論の形成、地方自治、司法などに関わる事柄や課題を理解している。 ｂ：政治分野において解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート
後期		第3章　現代経済社会 1　経済社会の形成と変容 2　市場のしくみ 3　現代企業 4　経済成長と景気変動 5　金融機関の働き 6　政府の役割と財政・租税	ａ：財政及び租税の役割、市場経済の機能と限界、金融の働きなど現実社会に関わる理論や課題を理解している。 ｂ：安定した経済活動を行うために金融や財政の活動の意義や課題について多面的・多角的に考察し論拠を持って表現している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、財政及び租税の役割、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第4章　経済活動のあり方と国民福祉 1　日本経済の歩みと近年の課題 2　中小企業と農業 3　公害防止と環境保全 4　消費者問題 5　労働問題と雇用 6　社会保障	ａ：契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化など現実社会に関わる事柄や課題を理解している。 ｂ：日本経済が抱える課題と自身の生活への影響について、未来を見据えながら解決策について考察し表現することができる。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して、契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート
		第5章　国際政治の動向と課題 1　国際社会における政治と法 2　国家安全保障と国際連合 3　冷戦終結後の国際政治 4　軍備競争と軍備縮小 5　異なる人種･民族との共存 6　国際平和と日本	ａ：国家主権、領域、わが国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会におけるわが国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ｂ：国際社会が抱える課題について具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国際社会におけるわが国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第6章　国際経済の動向と課題 1　国際経済のしくみ 2　国際経済体制の変化 3　経済のグローバル化と金融危機 4　地域経済統合と新興国 5　ODA と経済協力	ａ：世界経済がより緊密に結び付き、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 ｂ：世界経済の動向が日本での生活にどのような影響を与えるのか、協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート
	第3編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち	1　社会的な課題の発見 2　情報の収集と読み取り、分析 3　課題の探究 4　自分の考えの説明、論述 5　さらなる探究に向けて	ａ：第 1 部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第 1 部及び第 2 部で習得した知識及び技能を活用している。 ｂ：地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 ｃ：よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト 提出プリント	定期テスト 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度